

京都市(きょうとし)・
京都市国際交流協会(きょうとしこくさいこうりゅうきょうかい)の
外国籍市民(がいこくせきしみん)への
防災(ぼうさい)の取り組み(とりくみ)



京都市



財団法人 京都市国際交流協会
KYOTO CITY INTERNATIONAL FOUNDATION

災害時(さいがいに)の 外国人支援(がいこくじんしえん)のポイント

① 日頃の備え(ひごろのそなえ)

日頃から準備(じゅんび)できることも多(おお)い。

② 支援する範囲(しえんするはんい)

支援(しえん)する範囲(はんい)は限定的(げんていてき)に。
特別扱い(とくべつあつかい)は、混乱(こんらん)を招(まね)く。

③ 連携(れんけい)

被災地(ひさいち)は「無力化(むりよくか)」します。
地域(ちいき)を越(こ)えた連携(れんけい)で支援(しえん)の
強化(きょうか)を！



① 日頃の備え(ひごろのそなえ)

- a. 「地震・緊急時行動マニュアル(携帯用)」の作成、配布
(「じしん・きんきゅうじこうどうマニュアル(けいたいよう)」のさくせい、はいふ)



- b. 「京都市生活ガイド(きょうとしせいかつガイド)」 「京都市生活地図(きょうとしせいかつちず)」に災害時(さいがいはいじ)の情報(じょうほう)を掲載(けいさい)



① 日頃の備え(ひごろのそなえ)

c. 災害時外国人(さいがいがいいこくじん)サポートサイト「多言語 便利情報(たげんごべんりじょうほう)」の運営(うんえい)



発生日時 ※	2010 年 7 月 1 F 12 時 30 分頃
発生場所 ※	滋賀県南部 (Southern part of Shiga)
内容 ※	地震
京都市域の震度	5弱 6弱 6強 7 ※災害内容が「地震」の時のみ必須

Copyright © 2010 KYOTO CITY INTERNATIONAL FOUNDATION All rights reserved.



英語 日本語 中国語

送信内容(PC)

財団法人 京都市国際交流協会の通知

災害: 地震
時間: 7月1日 12時30分頃
地点: 滋賀県南部 (Southern part of Shiga) 発生した地震。
京都市の震度が5級強

有関係避難地点请参考下面的URL。
(點擊下面的URL可顯示避難地点的地圖)
URL: http://www.kcif.or.jp/MMD/user_maps/index

左京区南部 避難場所



① 日頃の備え(ひごろのそなえ)

- d. 京都市総合防災訓練(きょうとしそうごうぼうさいくんれん)への参加(さんか)
- e. 避難所(ひなんじょ)・多言語支援(たげんごしえん)センター設置訓練(せっちくんれん)への参加(さんか)

※ 後(あと)で説明(せつめい)します！



②支援する範囲(しえんするはんい)

- 言葉(ことば)に限定(げんてい)してサポートする
→「情報(じょうほう)」を届(とど)ける
- 文化(ぶんか)のサポートに限定(げんてい)する
→「安心(あんしん)」を届(とど)ける

※後(あと)で説明(せつめい)します！



③連携(れんけい)

地域(ちいき)や機関(きかん)を超(こ)えて連携(れんけい)。

＊ 災害時(さいがいじ)被災地(ひさいち)は無力化(むりょくか)！

- ・行政機関(ぎょうせいきかん)
- ・京都(きょうと)の外国人関係機関(がいこくじんかんけい)など
- ・近畿地域の(きんきちいき)の国際交流協会(こくさいこうりゅうきょうかい)など



○ 近畿地域国際化協会災害時支援協定(2007年12月締結)

(きんきちいきこくさいかきょうかいさいがいじしえんきょうてい 2007ねん12がつていけつ)



近畿地域国際化協会災害時支援協定とは？

(きんきちいきこくさいかきょうかいさいがいじしえんきょうていとは？)

近畿地域国際化協会(きんきちいきこくさいかきょうかい)とは…

近畿(きんき)の9つの国際交流協会(こくさいこうりゅうきょうかい)(兵庫県(ひょうごけん)、大阪府(おおさかふ)、京都府(きょうとふ)、和歌山県(わかやまけん)、奈良県(ならけん)、滋賀県(しがけん)、神戸市(こうべし)、大阪市(おおさかし)、京都市(きょうとし))が入(はい)る会(かい)

- 災害(さいがい)があれば互(たが)いに支援(しえん)。
- 多言語支援(たげんごしえん)センターを被災地(ひさいち)に開設(かいせつ)し、協力(きょうりょく)して運営(うんえい)。

※ 3. 11では、仙台国際交流協会(せんだいこくさいこうりゅうきょうかい)や大津市(おおつし)に設置(せっち)された多言語支援(たげんごしえん)センターへ職員(しょくいん)を派遣(はけん)！

ここからは

「京都市総合防災訓練(きょうとしそうごうぼうさいくんれん)」について

外国籍市民(がいこくせきしみん)と災害時通訳・翻訳(さいがいじつうやくほんやく)ボランティアが訓練(くんれん)に参加(さんか)。

日 時 9月(がつ)第(だい)1土曜日(どようび)

(にちじ) 午前(ごぜん)10時(じ)から12時(じ)

場 所 各区(かく)で持(も)ち回(まわ)り

(ばしょ) 今年(ことし)は左京区(さきょうく)で開催(かいさい)。



京都市総合防災訓練(きょうとしそうごうぼうさいくんれん)



京都市総合防災訓練(きょうとしそうごうぼうさいくんれん)



京都市総合防災訓練(きょうとしそうごうぼうさいくんれん)

訓練(くんれん)から見(み)えた課題(かだい)など

- 大規模(だいきぼ)の訓練(くんれん)の流(なが)れの中(なか)で、外国人(がいこくじん)対応(たいおう)に取り組(とりく)むには 限界(げんかい)がある。
- 外国籍市民(がいこくせきしみん)の存在(そんざい)を、住民(じゅうみん)にアピールできた。
- 外国籍住民(がいこくせきしみん)が「要配慮者(ようはいりょしゃ)」であることを知(し)ってもらえた。
- 日頃(ひごろ)から外国人(がいこくじん)が地域社会(ちいきしゃかい)に積極的(せっきよくてき)に参加(さんか)してもらえたら・・・



ここからは

避難所(ひなんじょ)・多言語支援(たげんごしえん)センター 設置訓練(せっちくんれん)

実施日(じっしび)：

2009年(ねん) 11/14～15

2010年(ねん) 9/25～26

2012年(ねん) 10/13～14

↑ 参加受付中(さんかうけつけちゅう)

会場(かいじょう)：

京都市国際交流会館(kokoka)

(きょうとしこくさいこうりゅうかいかん)



京都市国際交流会館(kokoka)

訓練の目的(くんれんのもくてき)

1. 避難所宿泊訓練(ひなんじょしゅくはく くんれん)

外国籍市民(がいこくせきしみん)が避難所(ひなんじょ)で宿泊体験(しゅくはくたいけん)し、災害(さいがい)に備(そな)える。

2. 多言語支援(たげんごしえん)センター設置訓練(せっちくんれん)

災害時(さいがいじ)の外国人支援(がいこくじんしえん)の拠点(きょてん)である、多言語支援(たげんごしえん)センターを設置(せっち)し、避難所巡回(ひなんじょじゅんかい)、多言語相談(たげんごそうだん)、翻訳(ほんやく)などを行(おこな)う。



訓練の様子(くんれんのように)

16:30 訓練開始(くんれんかいし)

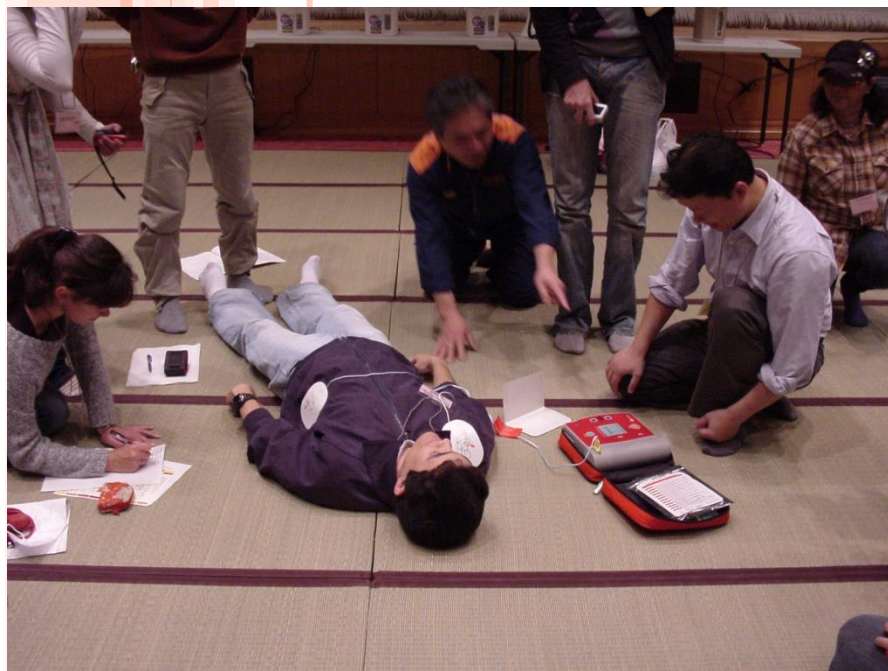


起震車体験(きしんしゃたいけん)



CPR訓練(くんれん)

訓練の様子(くんれんのようす)



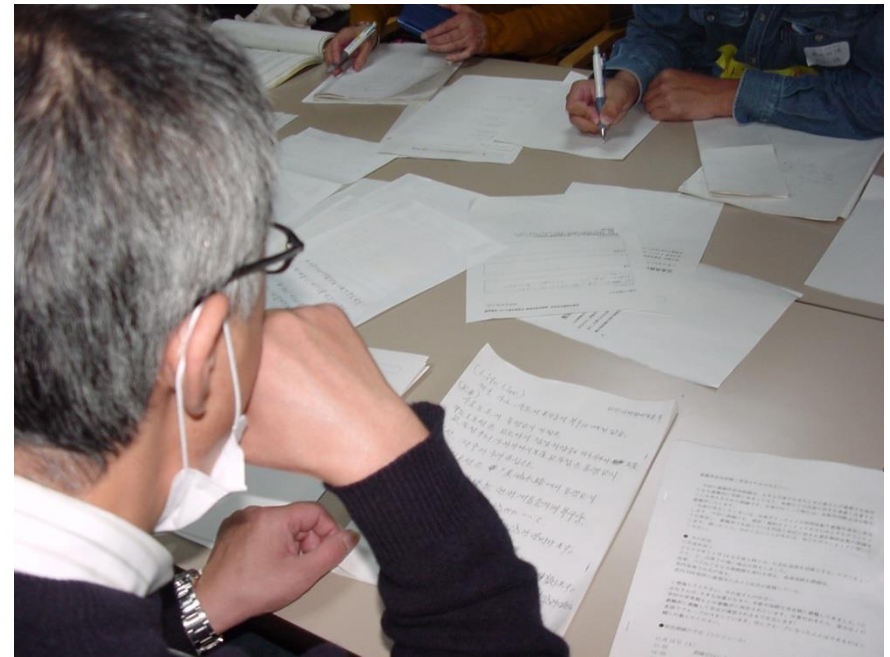
AED訓練(くんれん)



地震関連ビデオ鑑賞
(じしんかんれんビデオかんしょう)

訓練の様子(くんれんのようす)

16:30 ～ 多言語支援(たげんごしえん)センター始動(しどう)



- 避難所巡回準備(ひなんじょじゅんかいじゅんび)
- 地震(じしん)の情報(じょうほう)を整理(せいり)。
- 翻訳(ほんやく)の手配(てはい)

訓練の様子(くんれんのようす)

18:30 救援物資(きゅうえんぶつし)の配給(はいきゅう)



夕食(ゆうしょく) おにぎり・お茶(ちゃ)など

訓練の様子(くんれんのようす)

18:45 多言語支援(たげんごしえん)センターによる 避難所巡回訓練(ひなんじょじゅんかいくんれん)



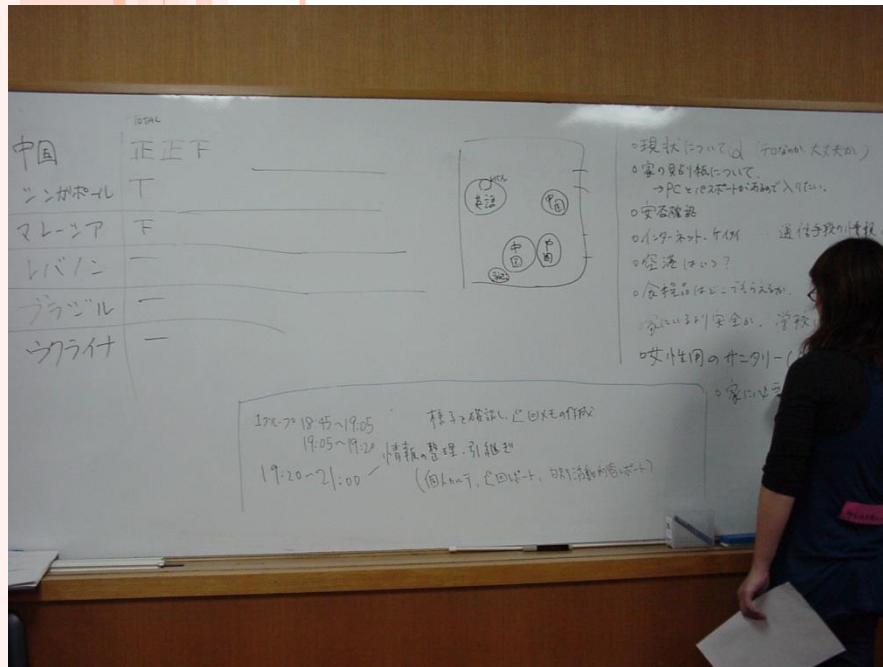
避難(ひなん)している外国人(がいこくじん)の要望(ようぼう)を通訳(つうやく)ボランティアが聞(き)き取(とり)り。



避難所(ひなんじょ)に掲示(けいじ)してある必要(ひつよう)な情報(じょうほう)を収集(しゅうしゅう)。

訓練の様子(くんれんのように)

19:20 相談受付(そうだんうけつけ)レポート作成(さくせい)、
避難所(ひなんじょ)の状況報告(じょうきょうほうこく)・
ミーティング



訓練の様子(くんれんのようす)

22:00 救援物資(きゅうえんぶつし)の配給(はいきゅう)



23:00 消灯(しょうとう)(1日目(にちめ)終了(しゅうりょう))

訓練の様子(くんれんのようす)

【翌日】(よくじつ)

6:30 起床(きしょう)

6:50 ラジオ体操(たいそう)



訓練の様子(くんれんのようす)

7:20 救援物資(きゅうえんぶつし)の配給(はいきゅう)



朝食(ちょうしょく) アルファ化米(かまい)・乾(かん)パン

訓練の様子(くんれんのようす)

8:10 振り返りと講評(ふりかえりとこうひょう)



消防局による講評

(しょうぼうきょくによるこうひょう)

コーディネーターによる講評

(こうひょう)

10:00 訓練終了(くんれんしゅうりょう)

今後の課題(こんごのかだい)

• 地域(ちいき)での連携(れんけい)

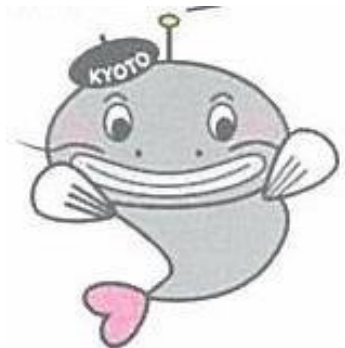
→「外国人(がいこくじん)は災害弱者(さいがいがくしゃ)」という認識(にんしき)を広(ひろ)め、日頃(ひごろ)から準備(じゅんび)！(言葉(ことば)や文化(ぶんか)の壁(かべ)がなければサポート側(がわ)で活躍(かつやく)できる！)

• 検証(けんしょう)と改善(かいぜん)

→「準備(じゅんび)はできた、さあ安心(あんしん)。」ではなく、訓練(くんれん)と検証(けんしょう)を繰(く)り返(かえ)す。

• 外国人(がいこくじん)と顔(かお)の見(み)えるつながりを

→ 災害時(さいがいがい)だけでなく、普段(ふだん)
• からこまめにお付(つ)き合(あ)い。



ありがとうございました！

